

# 社会福祉法人中央会 平成26年度事業報告

## 【行動方針】

1. 平成26年度新事業「グループホームゆうけあ相河」開設  
11月1日にオープンし12月には満床にすることができた。心配していた職員確保についても早期から採用したためオープンに間に合うことができた。現在、安定した施設運営が行なえている。
2. 特養とショートステイの運営の一体化  
特養の入居待ちをしているショートステイ利用者を特養空床利用につなげやすくなった。利用者や家族にとって特養での生活を体験することができ、特養職員にとっても入居の受け入れ準備がしやすくなった。
3. 記録物の整備  
記録管理ソフト「ほのぼの」を活用して情報共有は改善できたが、ケアプランに基づく一貫性・継続性のあるチームケアを行うためのケア記録が書けたかについてはまだ不十分だった。
4. 職員の育成  
中堅職員のリーダーシップ研修を1年実施してきた。外部研修について職員にアンケートをとった結果、施設外研修参加に積極的でないことが分かり専門職として今後の課題である。
5. 地域交流の推進  
米泉小学校4年生の総合学習の一環として慰問・福祉体験の受け入れを5月に行なった。子どもたちの希望で11月にも訪問があり、今後も交流を継続していくことになった。グループホーム運営推進会議には町会長・地域住民・地域包括支援センターありまつ・金沢市介護保険課職員の参加を頂いた。
6. 経営基盤の強化と確立

## 【平成26年度数値目標】

特養	稼働率	98% (28.5人/日)
ショート	稼働率	100% (20人/日)
デイサービス	稼働率	77% (27人/日)
小規模多機能	稼働率	96% (登録24人/月)
グループホーム	稼働率	26年度内に稼働率100% (18人/日)

【事業別事業活動状況】

事業所（定員）	人数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
特養 （定員 29 人）	入居者延べ数／年	9762	9600	10009	9812
	平均入居者数／日	26.7	26.3	27.4	26.8
	稼働率	92%	91%	94%	93%
ショート （定員 20 人）	入居者延べ数／年	6682	7099	7315	7381
	平均入居者数／日	18.2	19.5	20	20
	稼働率	92%	97%	100%	101%
デイ サービス （定員 35 人）	入居者延べ数／年	6680	7060	7452	8124
	平均利用者数／日	21.2	22.8	23.9	26
	稼働率 <sup>(750 人/月を 100%とする)</sup>	74%	78%	83%	90%
小規模 （定員 25 人）	契約者延べ数／年	212	258	276	246
	平均契約者数	17.6	21.5	23	20.5
	稼働率	71%	86%	92%	82%
収入小計		325,285,120	344,542,786	348,840,442	351,596,626
グループホーム （定員 18 人）	契約者延べ数／年				2439
	平均入居者数／日				16.1
	稼働率				90%
収入小計					41,418,312
収入合計		325,285,120	344,542,786	348,840,442	393,014,938

- ① 数値目標に対してショートステイ以外は達成できなかった。
- ② 前年度比較では特養、ショートステイは横ばい、デイは増加、小規模多機能は減少した。小規模多機能の減少原因は小規模多機能からグループホームへ入居した利用者が多かったためである。
- ③ 介護保険収入としてはグループホーム開設もあり 41,418,312 円増収となっているが、支出も人件費を主として増えており事業活動資金収支差額は前年の横ばいであった。

7. 各事業所評価

【特養】

- ① 担当職員と家族様との信頼関係の構築、つながりを深める

良い関係を築けている家族と、コミュニケーションの機会が少なかったり、入居者様の状態を正確に把握し伝えることが十分にできなかった家族もあった。今後も信頼関係構築に努力していかなければならない。

- ② 職員全体が看取りケアを理解し、連携の強化、質の向上に努める

職員によって理解度に差があった。今後も看取りは増えていくと思われるので

看取り委員を中心に学び職員の連携に努める。

- ③ 接遇研修での学びの定着、絶えず入居者様にとってどうかの視点をもつ身についてきていると思うが、今後も引き続き心がけていく。

#### 【ショートステイ】

- ① 職員個々が専門職としての意識を高めスキルの向上を図る  
自主的に研修に参加しスキル向上に取り組んでいる職員もあったが、職員によって意識に差が見られている。
- ② 担当による個別援助計画の立案、実践  
個別援助計画は立案できたが、業務に追われ個別ケアは十分にはできていなかった。個別ケアの実践を行っていきけるよう来年度も目標に揚げていく。
- ③ 接遇研修での学びの定着、絶えず利用者様にとってどうかの視点を持つ  
皆が意識を持ち、身についてきたように思う。継続して心がけていきたい。

#### 【小規模多機能】

- ① 転倒・誤嚥・離設ゼロ！  
9件の転倒事故があった。8件は同じ利用者様で、急速に下肢筋力の低下が見られた方だった。職員の見やすい居室に移動する等の工夫や努力を行ってきたが残念ながら防げなかった。また、誤嚥はゼロだったが離設は1件発生してしまった。二度とないように職員と良く話し合った。
- ② 接遇研修の実践研修  
「です」「ます」を言葉の語尾に付けましよう意識しているが、数名の職員が付けていないとの指摘があった。指摘のあった職員には注意し、気をつけるように促した。
- ③ 専門的知識・技術を高め、ケアに活かす  
ケアカンファレンスは月1回行っているが、勉強会については準備不足のため毎月1回行うことはできなかった。今後継続できるように工夫していく。
- ④ 利用者様と1:1で会話する  
利用者様と会話はできていたように感じる。新人職員については目標が浸透できていなかったことと、余裕がなく実行に至っていなかった。

#### 【グループホーム】

- ① 入居者が安心できるよう「ダメ」「待って」などを言わず常に寄り添った関わりを保つ  
安易に入居者様を抑制するように「ダメ」を発することはなかったが、「待って」に関しては理由を伝えずに使ってしまったことが多かったため一部達成であった。

② 入居者様と一緒に1日1回笑顔を共有する

日々の業務に追われることが多く、入居者様全員との笑顔の共有は達成できなかった。笑顔溢れる環境、「家」作りには個別の関わりを行うことが課題である。

**【デイサービス】**

① 接遇力向上を図る

意識して接遇向上に努めてきたつもりだが、できていない場面もあり継続的に心がけていきたい。

② 生きる楽しみ、喜びを繋いでいくデイサービスを目指す

利用者様の在宅生活において、憩いの場や新たな人間関係を生み出す場になっていると感じることはできた。家族負担が軽減できるような自立支援援助において力不足だった。

**【看護部】**

① 看取りや急変等の事例検討を行う

日々のミーティングの中で看取りや急変に関して話し合いを行い看護師間で情報を共有することができた。また、対応が不十分であった事例に関しては反省点と改善策を常に考え看護師が統一した方向性を持つことができた。今後はこれからの事例検討を介護士とも連携し共有していきたい。

② 看護記録を見直し統一する

記録委員会を中心に統一した看護記録になるようパソコン入力方法を見直し、こまめに入力することを心がけ充実した記録になった。今後は記録の重要性を介護士にも伝え全体として正しい記録が入力できるよう働きかけていきたい。

**【給食】**

① 利用者様の希望を取り入れながら身体の状態に合わせた食事を提供する

年2回の嗜好調査を行い、利用者様の希望・意見を献立表に生かした。禁止食材にも対応して提供している。今後は嗜好調査以外でのアンケートを実施し、より満足度して頂ける食事を提供していく。また、厨房と事業所との連絡を密に図っていく。

② 安全に安心しておいしく食べていただける食事を提供する

衛生管理をしっかり行い、ルールに沿って食事を提供できた。

8. 特別養護老人ホーム入退所（定員29名）

年度	月	新規入所者				退所者					
		在宅	その他 (他施設から 転入等)	病院	計	家庭復 帰	医療機 関入院	他施設 へ転出	在籍入 院中に 死亡	看取り 死亡	計
平成26年度	4										
	5										
	6	1			1		1				1
	7										
	8	1			1		1		1		2
	9	2			2				1		1
	10	2			2		2		1		3
	11	1			1		1				1
	12			1	1						
	1								1		1
	2			1	1						
	3	1			1					1	1
	計		8		2	10		5		4	1

9. 救急車搬送状況

年度	月	件数	部署	状況
平成26年度	4	1	ショート	心不全
	5	1	ショート	肺炎・敗血症
	7	2	小規模多機能	肺炎・心不全
			小規模多機能	胸痛
	8	2	特養	肺炎
			小規模多機能	肺炎
	9	3	特養	誤嚥性肺炎
			特養	嘔吐・けいれん
			特養	頭部打撲
	10	2	特養	呼吸状態悪化
			ショート	意識レベル低下
	11	1	小規模多機能	脳梗塞
	12	1	特養	てんかん発作
	1	1	特養	吐血
	3	1	ショート	意識レベル低下
合計件数		15		

10. 事故発生状況(金沢市報告)

[H26年4月1日 ~ H27年3月31日]

部署	件数	状況	
特養	2	胃ろうカテーテル抜去	脱衣時に衣類に引っ掛かり抜去
		左脛骨骨幹部骨折	重度の骨粗鬆症、ベッド上徘徊しベッド柵等で打撲したと思われる
ショートステイ	3	左肩骨折	早朝「痛い」と左腕をさすりながら部屋から出てこられる、詳細不明
		胃ろうカテーテル抜去	衣類、腹帯を自分ですべて剥がし、胃ろうカテーテルを自己抜去
		頭部打撲	フロアで椅子に座られていたが椅子ごと倒れ前頭部打撲
小規模	1	離設	夕食後、職員が他の利用者様対応中にフロアを抜け玄関から出て行かれた
グループホーム	3	右肋骨骨折	ベッド移乗時にめまいのため転倒、ベッドに右脇腹を打撲し骨折
		頭部打撲	ベッド下に左側臥位で転倒している状態で発見、詳細不明
		左大腿部頸部骨折	トイレから出てきた時に痛みの訴えあり、物音もしておらず、詳細不明
デイサービス	1	後頭部外傷	椅子から立ち上がり時に転倒し、洗面所に後頭部をぶつけ裂傷

11. 職員の採用・退職の状況

[H26年4月1日 ~ H27年3月31日]

年度	職種別	施設長	事務員	直接処遇職員				栄養士	療養士 理学療法士	療養士 作業療法士	宿直	合計
				相談員 生活	職員 介護	職員 看護	小計					
平成 26 年 度	採用				19 (16)	2	21 (16)	1				22 (16)
		退職			1	11 (11)	2	14 (11)	1			15 (11)
	3月末 職員数	1	2 (1)	4	45 (23)	6	58 (26)	1			(2)	59 (26)

( )はパート等非常勤人数

12. 施設職員の研修状況

[H26年4月1日 ~ H27年3月31日]

	回数	内容・状況
新人研修	3回(延べ25人)	OJT研修へ移行(チューター制)
職場外研修	79回(延べ163人)	県社会福祉協議会、福祉総合研修センター等の研修会に参加
職場内研修	12回(延べ247人)	記録について メンタルヘルスケア 倫理法令順守・虐待防止について 腰痛を防ぐ身体介護 プライバシーを尊重した個別ケア ターミナルケア 緊急時の対応 感染症の理解と対応 事故防止 栄養管理について 褥瘡対策 地域の社会資源の把握及び連携
外部講師研修会	10回(延べ75人)	中堅職員研修